

父と娘

娘が父の妻となり...

姉と弟

家族だから
血の繋がった

姉が弟の妻となる...

作・みるく工房

これは とある家族の物語…。

三歳違いの弟 マサキのことを姉のナナミは どでも可愛がり
彼の面倒をよく見てやっていた…。

マサキが物心ついた頃には姉弟の母親は
家を出てしまっていたので 心優しいナナミが
彼の世話を焼いてあげた…。

姉のナナミ
〇〇歳

弟のマサキ
〇〇歳

母親不在の食しい暮らしながら
幸せに過ごしていた姉弟だったが……

おいで
マー君♡

はあ

それから三年経った今……

はあ

はあ

はあ

おおよそ〇〇歳とは思えない
はち切れんばかりに成熟した乳房を
揺らしながらナナミは汗だくで歩いて
露出した肌を虫に刺されまくりながら……

ゆっさ
ゆっさ
ゆっさ
ゆっさ



ここは……付近に人家など全く無い
かなり山奥へと続く一本道……

家族三人この先にある廃屋を目指し
大荷物を背負い何時間も上り下りを
繰り返していた……

だらしない父親のせいで
夜逃げする羽目に陥った姉弟は
借金取りから逃れるために
父が促すままにこの逃避行を
続けていたのだ……

ほら
頑張れ！

ナナミ

疲れたよ

はあ

休みたいよお
お父さん

はあ

はあ

初夏の陽気はナナミの体力をどんどん奪い
彼女はもうフラフラだ……



ようやく山中に建つ朽ち果てた廃屋に辿り着くと同時にナナミは失神してしまった

ああ……
やっ……と……

着いた……

すう……

静かな所だろう？
ナナミ……
誰も居ない俺達だけの
隠れ家だよ……

すう……

すう……

はあ……

はあ……
暑かったあ……

はあ……

体力を完全に消耗し尽くし意識を失った娘を抱きかかえた父親……何故か彼はツワツワしていた

ちよつと父さん
ナナミの具合を
奥の部屋で
みておくから…

すうす

父さんが声を
かけるまで奥の
部屋を覗いちや
ダメだぞ!

すうす

すうす

えっ?!

う…うん
分かった…

外で虫でも
探しておいで…
マサキ
虫好きだろ?

うわずった声で父親は息子のマサキを
廃屋の外へ厄介払いした…

マサキは少し不審に思いつつも
素直に従い外へ出て行った…

あう…

ナナミい
よおきるな

はあ

はあ

はあ

はあ

ドサッ!

父は意識の無い娘を奥の部屋の片隅に置かれていた
汚れたクッションの上に寝かせ 慌てて服を脱ぎ全裸になった…

疲れ切り意識を失った娘の陰部...
彼は そのぬめる秘肉に指をねじ込み
尻を撫でまわして彼女の肉体の温かさと
柔らかさを堪能した...

くっくっく
生温かくて
又ル又ル
だぜえ♡

これが愛しい
我が娘の
生マ○コかあ

あうう

目え
覚ますなよお
ナナミい♡

はあん

ああん

んああ

血の繋がった実の娘の... その豊満で淫らな肉体を
心ゆくまでイタズラする... これこそが彼の目的...
この逃避行最大のイベントだった...



ナナミは父の言葉に耳を疑った。。。家族全員の衣服の予備など一切置いてきたというのだ。。。

あ：あの
お父さん：
ナナミの服
何で脱がされて...

えっ！嘘っ！
そんな...
何でなの？
どうして二人共
裸なの？！

やあ！起きたのか
ナナミ...
メシ出来てるぞ
さあおいで
温かいうちに
早く食べよう！

ねえ：私の服
お父さんが
脱がせたの？

ここは山奥だというのに夜でも寒くはなく丸裸でもちょうどよく過ごせる気温だった。。。

ああ：汗びっしょり
だったからね！
カラダじゅう虫に
刺されてたから
クスリを塗ったりさ...

その下着...
マサキと二人で
着せたんだよ...
今はそれで
我慢してくれ！

ゴク...

弟のマサキは実の姉の
下着姿に生唾を呑み
彼女を見つめていた...

...
そんなあ...
二人して私の裸を
見ちゃったのお？
ウソお！嘘でしょ...

ナナミも... 困惑しながらも父や弟に対して特別な感情が芽生えてきている事を感じていた...

ドキ

ドキ

ドキ

家族三人 焚き火を囲んでのぎこちない食事…
 ナナミは努めて平静を装っていたものの、どうしても
 父や弟の いきり立った大きくて太い肉棒に目を奪われてしまう…



それでね…
 お姉ちゃん気絶
 しちやったんだよ
 お父さんがカラダ
 拭いたり薬塗ったり
 したんだって…

そ：そうなの？
 覚えてないけど

はま

ごめんね
 色々迷惑かけて…
 私お父さんや
 マー君に裸にされて
 ちよつと慌てちゃった

家族同士だもん！
 恥ずかしいがね
 ありがたう！介抱
 してくれただね



まるで見せつけるように二人共そのむき出しのペニスを
 彼女の眼前にさらし続けながら、廃屋での初めての夜を過ごした…

それにしても
 スゴいな！
 二人のおち○ぼ

あんなに
 膨らんで
 おつきい♡

マー君なんかの
 まだ○歳なのに
 あんなにも
 おち○ぼ
 上向いてるう…

もしかして
 私のせい？
 まさか…ね♡
 ああ…なんか
 見とれちゃうな
 おち○ぼ…

ナナミは息が荒くなるのを抑えられずに、ただひたすら彼らの股間を
 凝視し続けながら興奮に声を震わせつつ二人と会話した…

夜も更けて 家族三人 身を寄せ合い「川の字」になって眠った...



ナナミもマサキもすぐに
深い眠りに落ちてしまったが
父親の手は眠る娘の乳房に伸びて

その柔らかな感触を楽しみ続ける...
大きな乳輪の先端が固くなり、眠る
ナナミは無意識の中で喘ぎ始めた...

さらに彼女の左手首を掴み自身のいきり立ったイチモツを握らせ、シヨかせ続けた...

父親の性欲が収まるまで その行為はひたすら続く...
こうして娘のナナミは父の肉棒の手触りを、その匂いを
性の愛撫の気持ち良さを脳裏に、しっかり刻み込まれていった...

そんな…家族三人 無人の山奥での裸の生活にナナミもすっかり慣れた頃
父は息子のマサキが外へ遊びに出たのを見計らって 娘のナナミを廃屋内の
暗がりへ「話がある」と誘い込んだ。

ゴメンなナナミ
こんな目に
遭わせて…
辛くないかい？

わー
カナブンだあ

気にしないで
お父さん♡ナナミ
家族みんな
一緒に居られるなら
幸せだよ！

この生活も
結構楽しいよ♡
ナナミ裸でも
もう平気だし！

父と娘の二人きり…
彼女は何の疑いもなく
丸裸の父親と向き合っ
て会話していた…

ナナミっ

かばっ

きゃっ！

おっ
お父さん？！

好きだよっ

スゴいなっ♡

初めて見た
山って
いいなあっ！

わっ
っ♡

廃屋の中で今 起きている事も知らずに
無邪気に虫たちと戯れるマサキの姿を横目で見ながら
血の繋がった父と娘は禁断の世界へと踏み込んでいった…

突然 裸の父に抱きつかれた娘のナナミ...

戸惑いながらも彼を振りほどけない...

どうして
なのお？
凄くお持
いいおさ
ち？

何するの
お？
ダメええ
ええ！

はわわあ
あ
お父さあ
ん！

こんなコト
されてるの
に全然
嫌じゃない
よお
はあもつと
強く抱いて
ええ

あああ
あ
ゴメンよ
お！
ナナミい
い

お父さん
の
コト
見捨てな
い
で
くれよ
お
お！

この少女、ナナミの父への間違った感情が今
激しく湧き上がる！毎日見せつけられ続ける
肉棒への思いが爆発しそうになる...

大丈夫だよ
お
ナナミはど
こにも
行かないよ
お
お！

愛して
る
う
う！
大好き
だよ
お
お！
ナナミ
い
い
お
お！

死ぬま
で
ず
つ
と
お
父
さ
ん
と
一
緒
だ
よ
お
お！

彼女は自分の心に従い 父にされるがままにその身をゆだねる...
ナナミは実の父親のすべてを我が身で受け止める事を決意した...

夢のようだよ……
可愛い娘のお前と
こうして裸で
抱き合えるなんて……

はあ

はあ

はあ

ドキ
ドキ
ぎゅん

ああ……
どうして
なのお？

はあ

はあ

ドキ

父さんも
ホントに嬉しいよ！
ナナミの吐息を
こんなに間に
感じられて……

今私お父さんの
でっかいおち○ち○に
またがってるんだわ♡
スゴく嬉しい！私って
こんなにエッチな子
だったんだあ♡

お父さんのカラダ
ちっとも嫌じゃない！
どうしてえ？この匂い
なんか好きい……
こんなことされるの
初めてなのになお？

すぐそばに
マ―君がいるのに
もう逃げられない
よお♡止めらん
ないよお♡

ナナミ：はっきりに
告白するよ
好きだ！愛してる！
父さんと
結婚してくれ！

今までずっと
言えずにいたんだ
この気持ち受け
止めて欲しい！

ふう〜

ドキ

はあ

ふう〜

はあ

はあ……
そんなあ……

私達
実の父娘
なのにい……

ナナミなんかで
いいのお？
お父さあ〜ん！



ああっ！なんて
可愛いんだ！
ナナミっ！
お前だから
いいんだよ！

んむっ

あむう

家出した母さん
以上に淫らに育った
お前のカラダが
欲しいんだっ！

血の繋がった
実の娘だから
いいんだよっ！
このカラダが
父さんを狂わせ
てるんだよ！

むぐう

まだ〇〇歳のクセに
こんなにもいやらしく
熟れまくった肉体で
父さんを
挑発しやがってえ！



クソっ！お前の唇
なんて柔らかいんだ！
意識のある娘と
舌を絡ませることが
なんなにも楽しい
なんてっ！

へはあ

えぶう

んええ

ナナミ！お前は今から
俺のお嫁さんだ！
父娘二人、心ゆくまで
セックス
しまくらうなっ！

愛してるよ！
大好きだよ！

くふう

んはあっ
いいよっ！

お父さんが
望むのなら ナナミ
アナタの妻になるっ！
もうどうにでもしてえ
私をもっともっと
狂わせてえっ！

へおう

へぼお

○○歳の少女 ナナミの初体験は こうして逃避行の末
血の繋がった実の父親と廃屋の中で密かに愛し合い 無心に
互いの肉体を貪り合う禁断愛で染められてしまった...

おほお

えはっ

はへっ

ほおおっ!
んおおお

へううっ

くはああ

裸にされ いきなり父に
唇を奪われて 処女を失う
ハメに陥った娘... あまりにも
衝撃的な夏の出来事...

んへああ

へんへええ
ああええ

遂に念願を果たした
父の肉棒はギンギンに
いきり立ち 容赦なく
ナナミの陰部に
ねじ込まれてゆく...

彼女はただ 父の欲望のおもむくままに犯され続けた...
こっそり盗み見続けていた彼の太くて大きな肉棒が 今
自分の子宮をかき回している... 女の悦びに浸り
ナナミは無我夢中で父の愛撫に身をよじらせ悶え狂う...

弟がすぐ近くにいる中で気付かれないように愛し合う姉とその父...
そんな緊張感が二人の淫らな行為をより激しく過激にさせていった...



いなくなった母に替わって父の肉棒の味を教え込まれてゆくナナミ...
完全に彼のカラダの虜にされてしまった娘は こうして終わりのない
父子相姦の愛欲地獄に堕ちていった...

ナナミの子宮の奥底に眠っていた「淫欲スイッチ」は
実の父親の極太肉棒によって何度も繰り返し激しく押され 突き上げられ続け...
とうとう彼女の理性は粉々に砕かれ吹き飛んでしまった...

父娘二人の愛欲劇はマサキの眼を盗んで
いたる所で繰り広げられた



家族三人 水浴びに行った際もカナミは
父のカラダを洗ってあげるフリをして
彼のペニスを嬉しそうに舐めまわす...

深夜... マサキが熟睡している傍らでも
父と娘は互いの性器を夢中で貪り合う...



ナナミにとって いつ弟に気付かれるか分からない
ドキドキ感と背徳感が より一層父への性欲を昂らせていった...



どうかな？
マー君…
かな？
えへへ…

そこには…無残なまでに
断髪されまくった姉…
オナミの姿が…



おっ
お姉ちゃん!!
その髪…
なんで？

あっ!
マー君!
お帰り♡

さらけ…ある日
マサキが昆虫探しから
もどってみると…



はあ
はあ
もの凄く
エッチな
感じがする…

なんかなの
いやらしいに…

あはは

二人と
おそろいだね♡

これなら
色々楽しく
動いても
楽だから…

えへへ

何故か丸裸にされた彼女の全身には
切り刻まれた髪の毛がびっしりとまとわりつき

まるで弟を挑発するかのよう
にその汗だくの肌を陰部を見せつけていた…



山中に響きわたる姉弟の喘ぎ声…
姉ナナミの泣き声がより一層
弟の性欲を掻き立てる…



ナナミを押し倒し、今まで散々覗き見た
父と姉の激しい性行為をマネして、マサキは
必死になつて彼女の膣に自分の肉棒を
ねじ込み、懸命に上下に腰を振りまくる…

実の弟の肉棒の味…
父譲りの、その太さや大きさに姉のナナミは
目ダレを垂らし狂喜し悶え狂う…



父が「婚約首輪」としてナナミの首にかけたドングリのネックレスが
ちぎれるくらいに姉の肉体は乱暴に揺さぶられ続けた…
弟の溜まりに溜まった大量の精液は姉の子宮めがけ、もの凄い勢いで
注入されてゆく…

こうしてナナミは毎日 何回も 実の弟とも裸で愛し合う生活を送り...



朝から晩まで実の父親の肉棒にも責め立てられる近親相姦の性欲地獄にその身を堕としていった...

連日連夜 昼夜を問わず父と弟に犯され嬲られ続ける ナナミの肉体は どんどんいやらしく成熟して行く...



肉親二人の濃くて大量に出る精液を 彼女は その子宮でしっかりと受け止め続けた...

えへっどお 似合うかな? カッコしろって うるさくて...

いいぞ♡ ナナミ! もっと 播らして

着衣を身にまとう事を許してもらえず 常に全裸同様の裸族生活を父に強要され ナナミの羞恥心は破壊されていった...

お姉ちゃん スゴいよっ! 可愛くて いやらしいっ

なんて デカ乳だ! さすが俺達の 花嫁だよ!

そんな彼女のカラダは尋常ではない 速さで発育してゆく... っこう見えて ナナミはまだ◎学◎年生◎ ◎◎歳◎にな◎った◎ばかり◎の◎少◎女◎な◎の◎だ◎...

「おねだりの舞い」……
夜「廃屋」の中で火を焚き
その前で汗だくになりながら
無心にデタラメな呪文を唱え
祈りをささげる爆乳少女ナナミ……

これは父親が娘に仕込んだ演出……
ナナミを近親相姦に耽溺させるための
心理操作のテクニク……

この無人の山奥へ連れて来られて
彼女は父親の狙い通りの「淫らな色」に
どんどん染め上げられてゆく……
常に父や弟の肉棒と精液の事だけが
頭にない色欲に狂った一匹の牝の獣
と化してしまっていた……

彼女はまるで自分が
巫女にでもなったかのように
ひたすら自己陶醉のための儀式に
狂ったように浸り続ける……

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

さあナナミ  
汗いっぱいいたる♡  
チ○ポでノドを潤せ!  
精液が神様への供物だ

巫女であるお前が  
神の替わりに  
男の精をたっぷりと  
すするんだ♡

はわわ…  
お姉ちゃあん

はああ…

嬉しい!  
二人のおち○ち○っ♡

実の父と弟の充血しきつた肉棒を前に  
頬を紅潮させて狂喜する爆乳少女ナナミ…

ナナミだけの  
素敵な  
ご褒美♡  
夢じやないのね!

二人同時に相手をするのは  
今夜が初めての彼女…

家族想いの優しい娘は父親のもぐるみ通りに  
性欲処理の淫らな肉人形に生まれ変わってくれた…

くふう!  
ナイぞ!  
ナナミ!

今夜は三人で  
とことん  
愛し合おうな!

うくっ!  
うくっ!

ああっ! 幸せえ♡  
二本イッキに  
しゃぶれるなんて  
スゴいよおん♡

むぶっ

おいちいっ♡  
弟の：マー君の  
おち○ち○っ！

お父さんのチ○ポ  
大好きっ！だけど  
二人と一緒に裸で  
過ごすのはもっど  
楽しいっ！  
大好きよおっ！

うぶう

うぐっ！  
いいっ♡

お姉ちゃんの舌が  
グリグリ先っぽを  
舐めまわしてっ

おぼっ

でっかい  
弟チ○ポ♡  
これなら姉弟で  
いっぱい  
楽しめるね！

弟の前ではしとやかで優しい姉を演じ続けてきたナナミ……  
衣裳も理性もかなぐり捨ててとっとうっとう本性を現した……

無我夢中で肉親のペニスにむしゃぶりつき  
ひたすら無心に亀頭を舐めまわして二人の  
体液を一滴残さずすすりあげる……

ホントにナナミは  
チ○ポしゃぶるの  
上手だよなあ♡

んぐっ

もぶう

ふぶっ

おぶっ

んあああつ！  
お姉ちゃんの  
バキュームフェラ  
僕 好き♡

お姉ちゃんが  
お嫁さんになって  
くれたら僕もっ  
死んでもいいよお♡

血の繋がった愛する父と弟の  
いきり立った肉棒を二本同時に  
愛撫できる夢のようなひと時に  
心の底から酔い痴れる少女の姿が  
ここにあった……

父親と弟のチ○ボ○  
いくら舐めても飽きない味……  
一度味わったらもう止まらない  
やめられない……

んふう

はへえ

ほう

マジ美味ちい  
二人の精液全部  
飲ませてえ  
ナナミだけの  
ご褒美い

家出した母の代わりに  
実の娘が父の性欲を受け止める……

母のいない弟のために  
その淫らな肉体でもって  
心の淋しさを埋めてあげようと  
必死に性的に奉仕する姉……

んむう  
おぼお

おすおす

じゅるる

ぢゅる

ぢゅる

んえう  
はむう

早く出してえ  
この玉袋に  
溜まってるの

あむう  
んも

ドロっドロの  
精液いっっぱい  
出してえ！ナナミ  
げんぶ飲んで  
あげるからあ

爆乳○学生少女ナナミの  
歪みきつた母性が溢れ出した  
親子三人での初夜……



はあああ  
早くうす早く  
出してえ♡

二人の同時に  
飲みたあうい!  
んあああうん



んえああつ  
出たあつ♡

おいちい!  
家族の精液  
マジ嬉しい♡

おうあ

えああ

あぐつ

へああ

ナナミの口に  
ぜんぶんぶ  
吐き出してえ!  
二人の子種汁  
大好きい♡

血を分けた肉親の放出する大量の温かい精液にまみれて  
ナナミは感動に打ち震える...

弟に…父親に替わる替わる 凄まじい量の精液を  
その口やおま○この中に ぶちまけられ続ける少女ナナミ…

んはあ

はぶあつ

もっほ  
ひよらうい

ドロドロれ  
おいひい  
♡

三人の持つ巨大な睾丸は今  
彼女を悦ばせるためだけに  
ひたすら精液を溜め込み続け  
その夜 ナナミへの歪んだ愛情  
と共に とめどなく溢れ出させた…

んぐああ  
へああ

可愛い弟が必死になって姉の口内に精を注ぎ込む…  
優しい姉は回を大きく開けたまま彼の想いを受け止めてあげた…

ひららみ  
ひああ  
へえ

おほお

誰にも邪魔されずに家族三人 思う存分愛しあえる至福のひと時…  
辛かった逃避行の苦勞が やっと今 淫欲にまみれながら報われた…

廃屋のすぐそばにある滝で  
体液まみれのカラダを  
清めあう三人...

はあ  
あ

へはあ  
ああ  
あ  
お姉ちゃん♡

もっとお  
もつと強く  
シゴいてえ

おおおっ！  
ナナミいい！  
ナナミいい！！

僕達三人  
死ぬまで一  
緒  
だよっ！

やがてナナミは実の父の子を孕むだろう...  
この先 一体どうするつもりなのか...  
このまま山中で互いの性欲をぶつけ合いながら  
野人のように暮らし続けていくのか...

日々を激しい近親相姦に狂い耽って過ごす事しか頭がない  
この三人に そんな不安はないらしい...

終わることの無い近親相姦の快樂に溺れる  
父と娘 姉と弟...

大きな乳房の淫らなカラダを持った少女 ナナミ  
彼女の肉体はまるで麻薬のように男の心を虜にして  
中毒にしてしまう...

彼女自身はそれとは気づかないままに  
いつまでもずっと実の父と弟の肉体を  
セックスに狂わせ続けていく...

無限に続く肉親同士の愛欲劇...  
家出した母の代わりに妻となり  
母親の役目も果たそうとナナミの  
健気なまでの肉体奉仕は  
いつまでも終わらない...

おしまい

# あとかき

お買い上げ下さり どうもありがとうございました。

誰にも気兼ねなく屋外で思う存分 淫行に耽る親子三人  
そんな話を描きたくて この度仕上がったのが本作でした。

本当は20ページほどを短期間で描き上げて発表しようと  
目論んでネームを描き始めたら 考えていた通りに収まらなくて  
こんな風になりました。いかがでしたでしょうか？

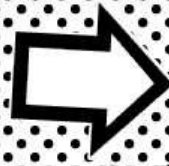
当初は 娘のナナミちゃんが堕ち尽くした頃に債権者の男達が大勢で山奥にやって来て 彼女を輪姦し乱交したおしでから借金のカタに連れ去る…といったオチを考えていたんですがそれはまた別の機会に…。

次回もよろしければお付き合い下さいませ。  
これからもよろしくお願いします。

みるく工房

2017.3.1.We

ナナミ  
お姉ちゃん



一番始めに鉛筆で描いた  
キャラ設定の描き起こし絵

お父さん



マサキ(マー君)

# おまけコーナー

## 作画風景 接写画像

今回 おまけイラストが皆無なので  
無理やり作ったページです…

液晶ペンタブレットを  
使ってみたいにやー…



鉛筆描きの非やら描き絵

この作品を作画中  
傍らにぶら下げて  
チラチラ見ながら  
デジタルのペン入れを  
していました…

お父さんはやんちゃなヒトで  
クモの刺青がある設定だったり  
していました…

### 原稿ページ画像の羅列

### モニター画面



始めの頃は鉛筆描きのネームのスキャン絵  
が並ぶのみの 先が思いやられる不毛な気分  
にさせられる画面でしたが…

黙々と作画を続けて ようやく  
完成原稿のみで画面を埋めることが  
出来ました…

これより本編の「ふきだし」

「テキスト」



「効果線」「オノマトペ」**意**

バージョンペーヅです





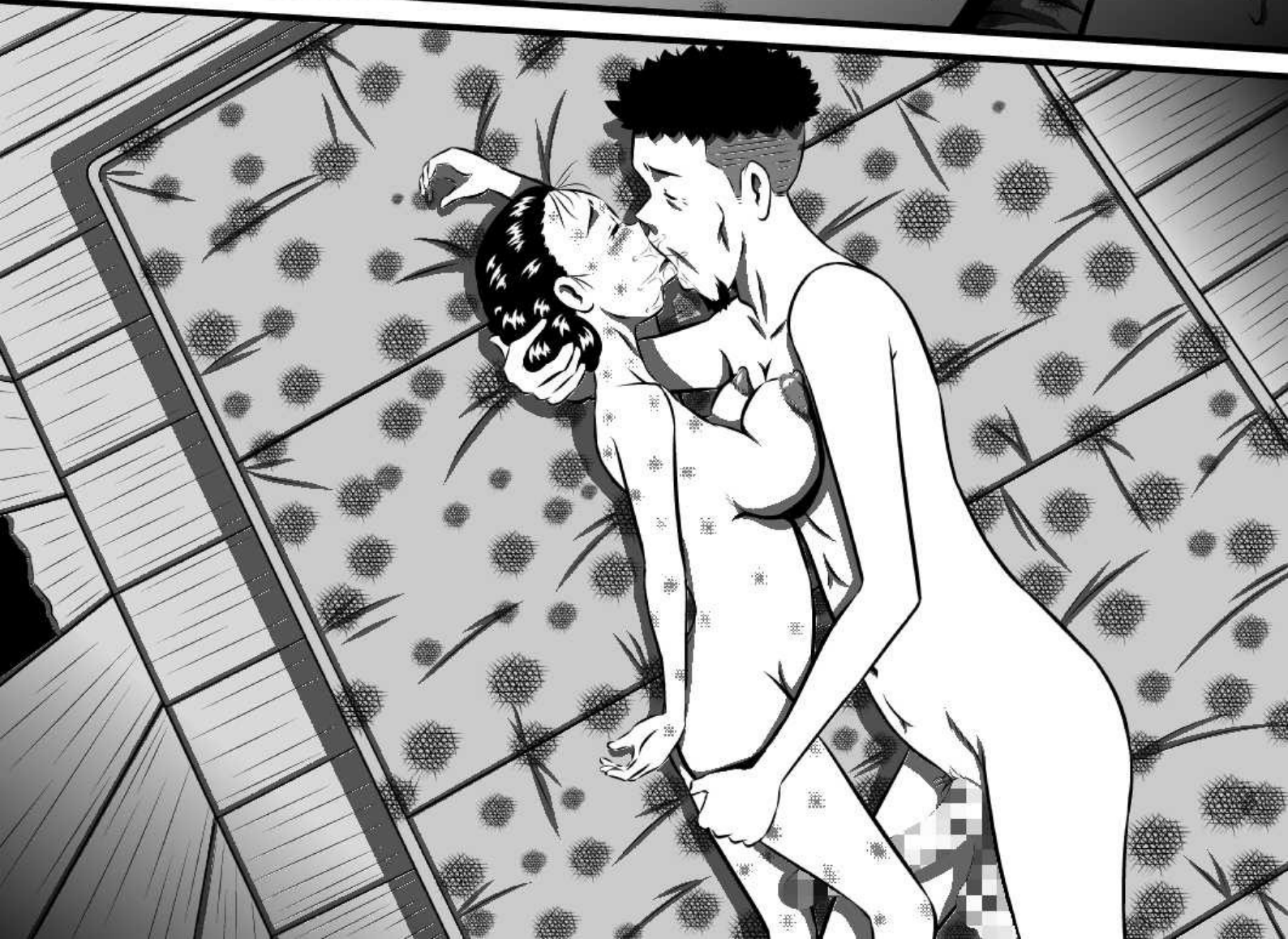




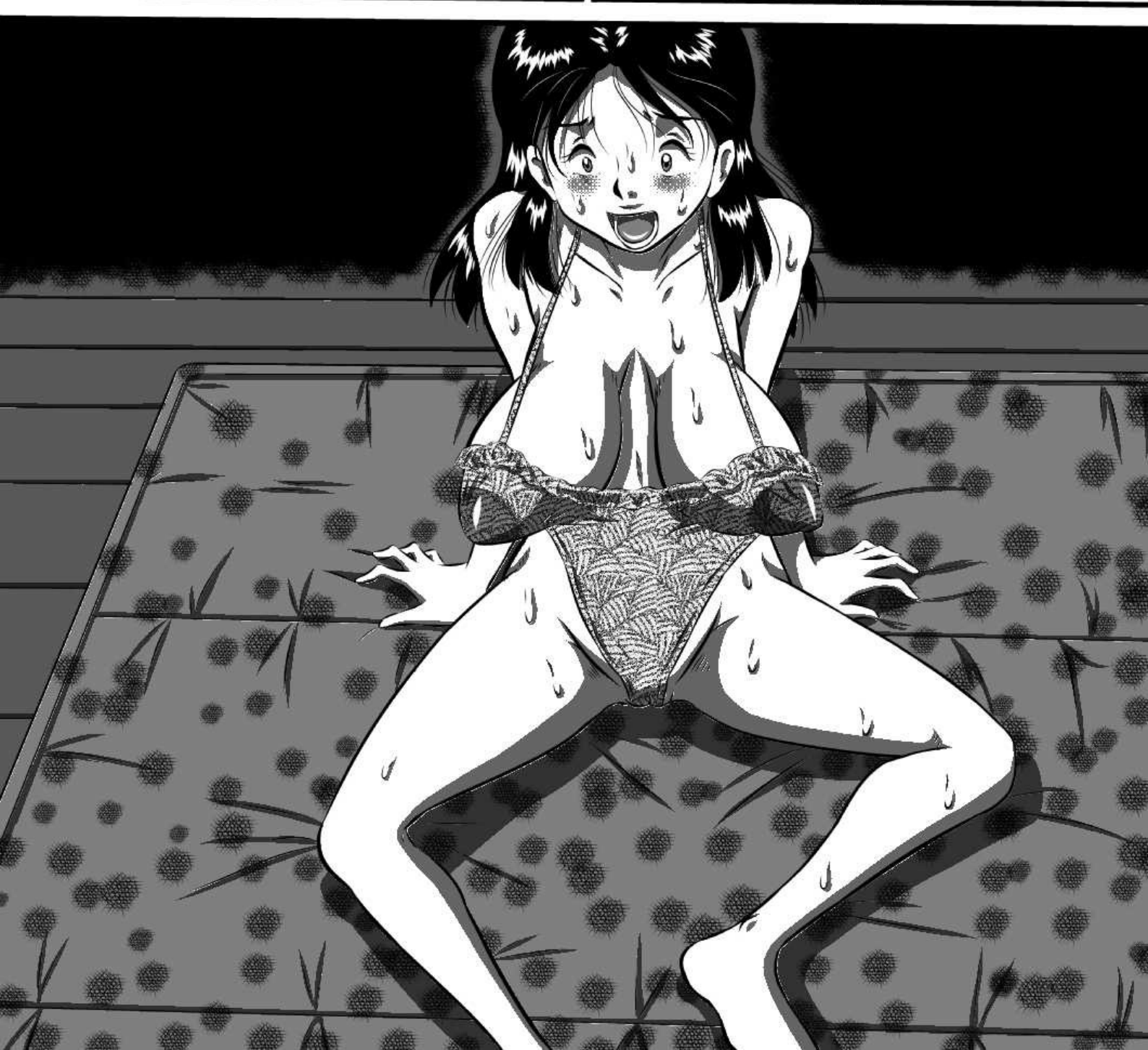




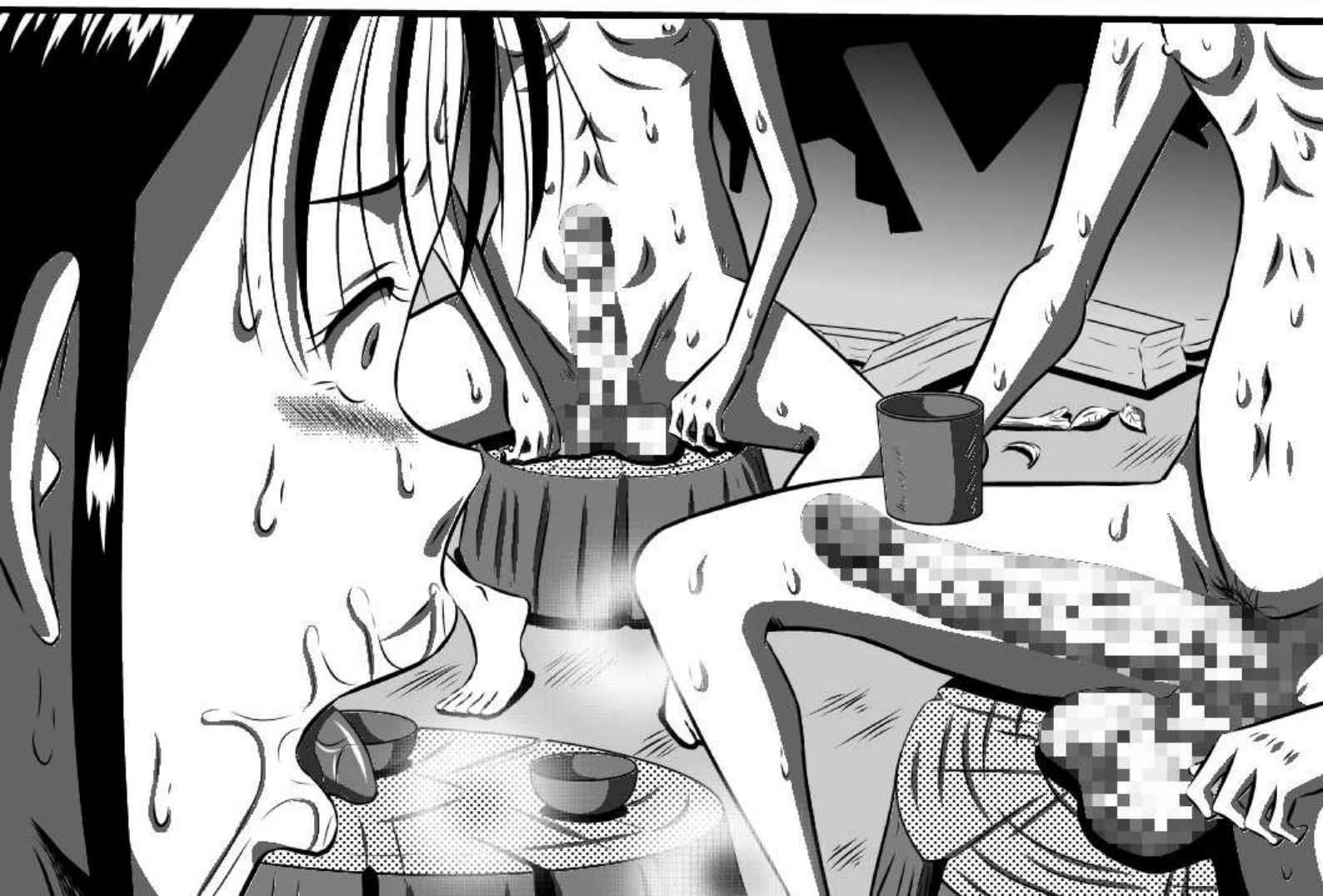


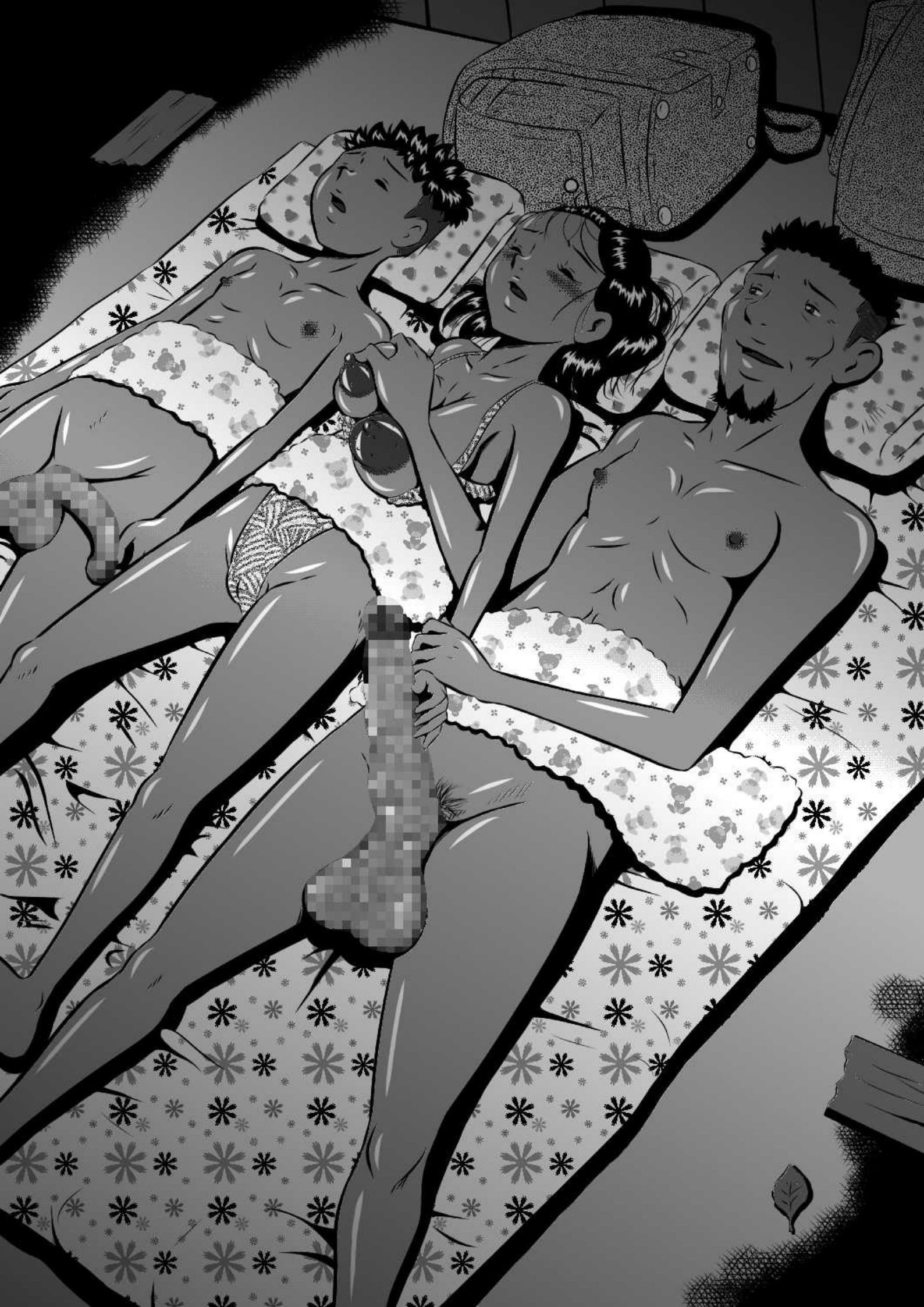














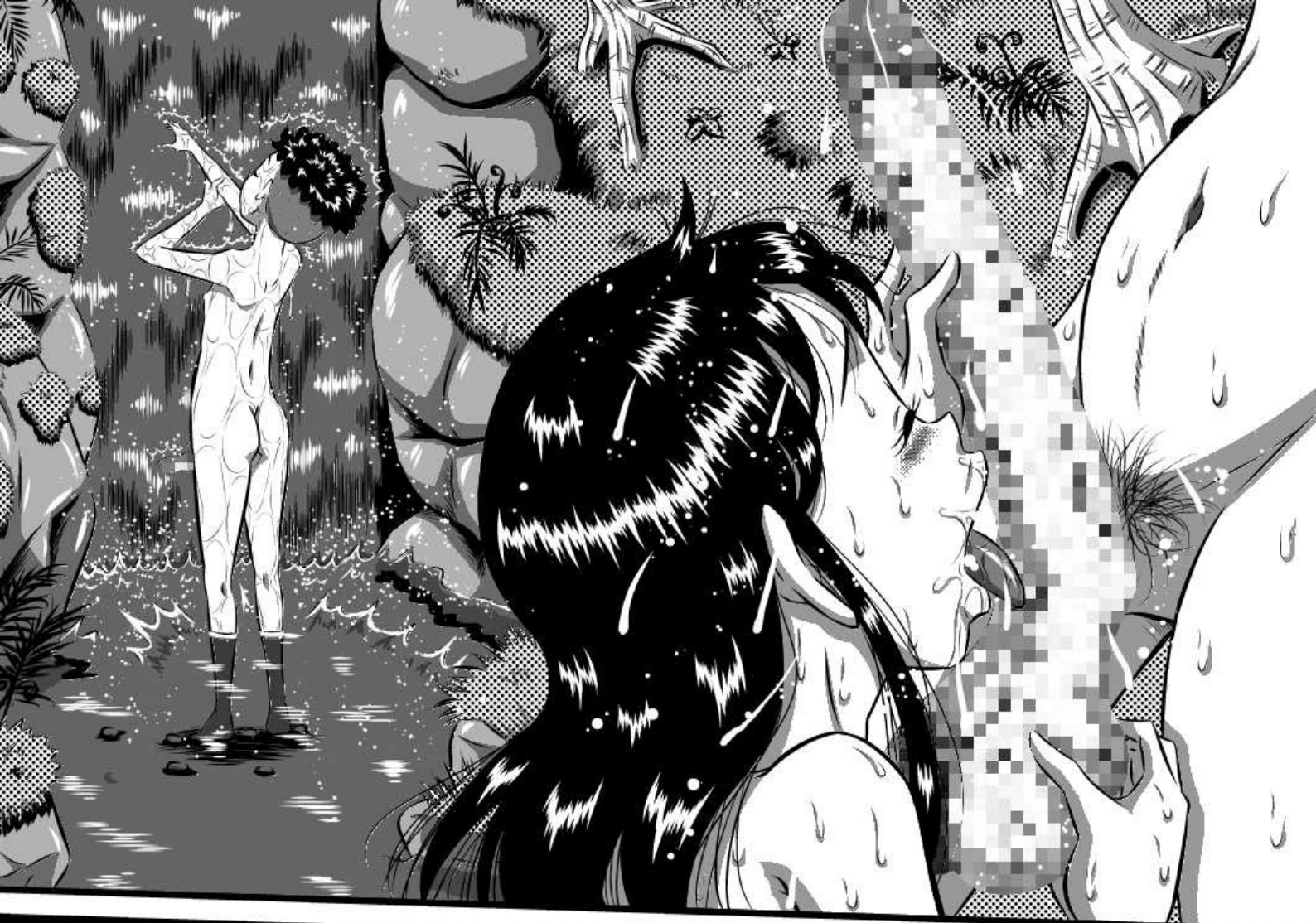














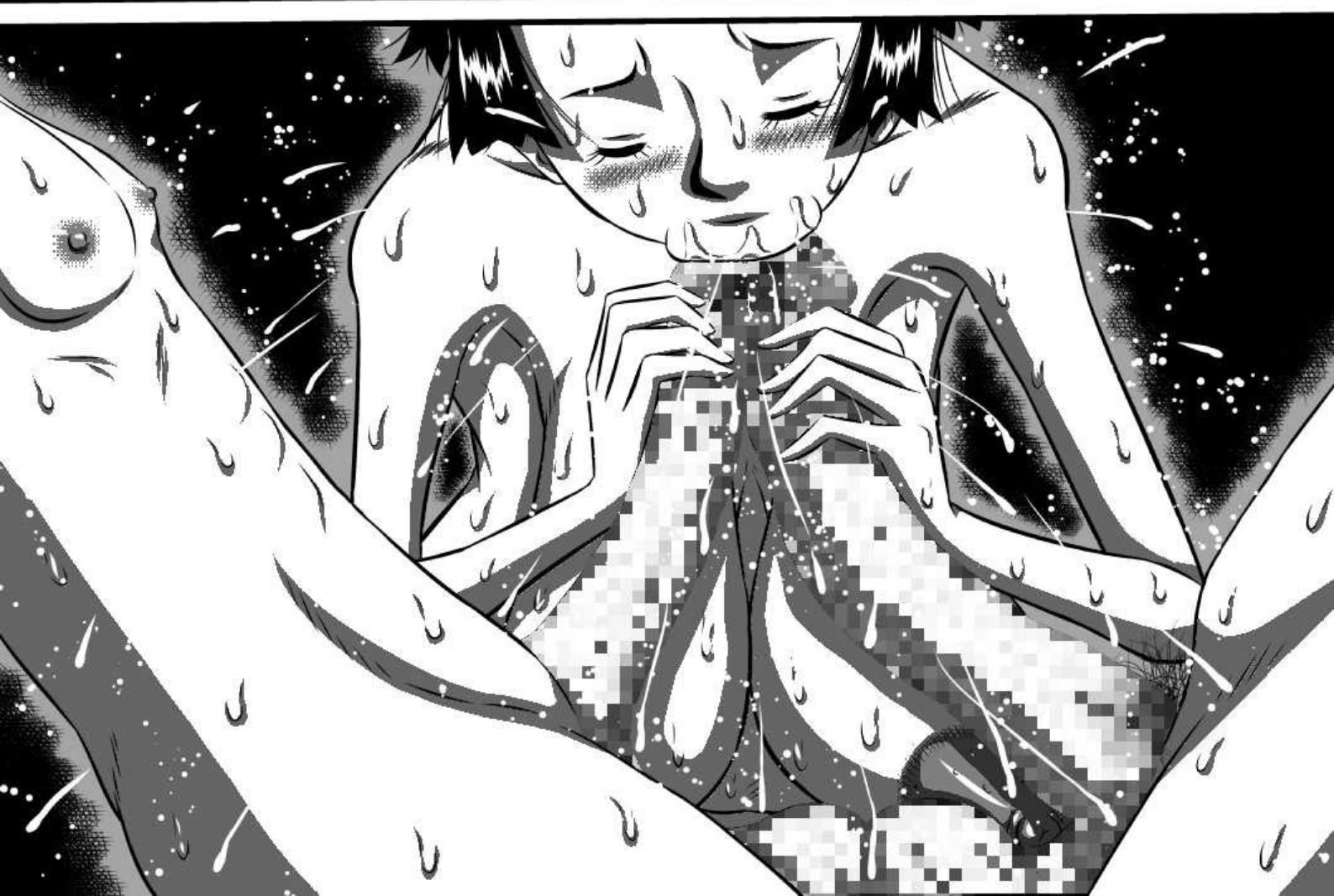














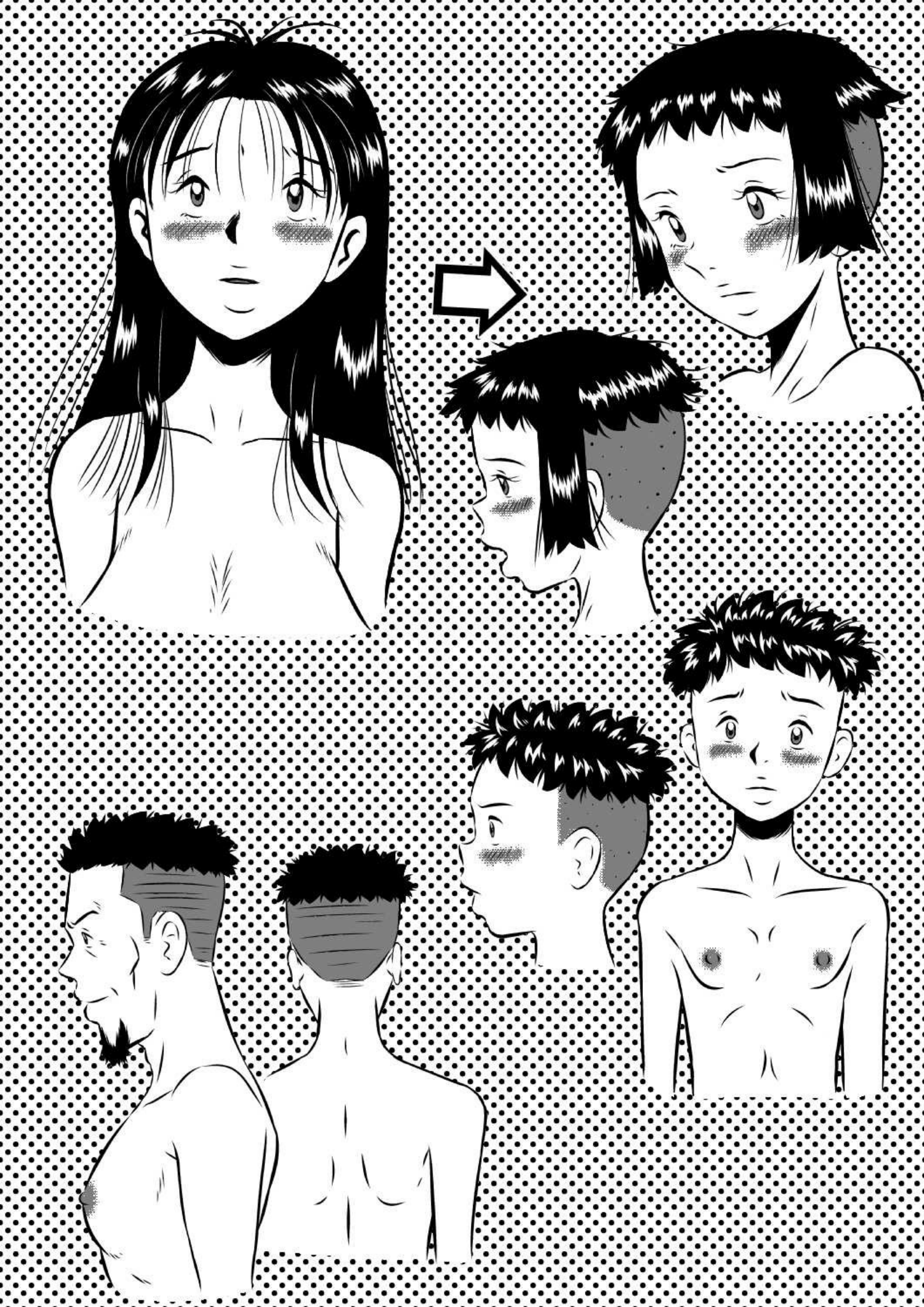














これより本編のさらに



「白濁液描写」意し  
バージョンペーパー  
です





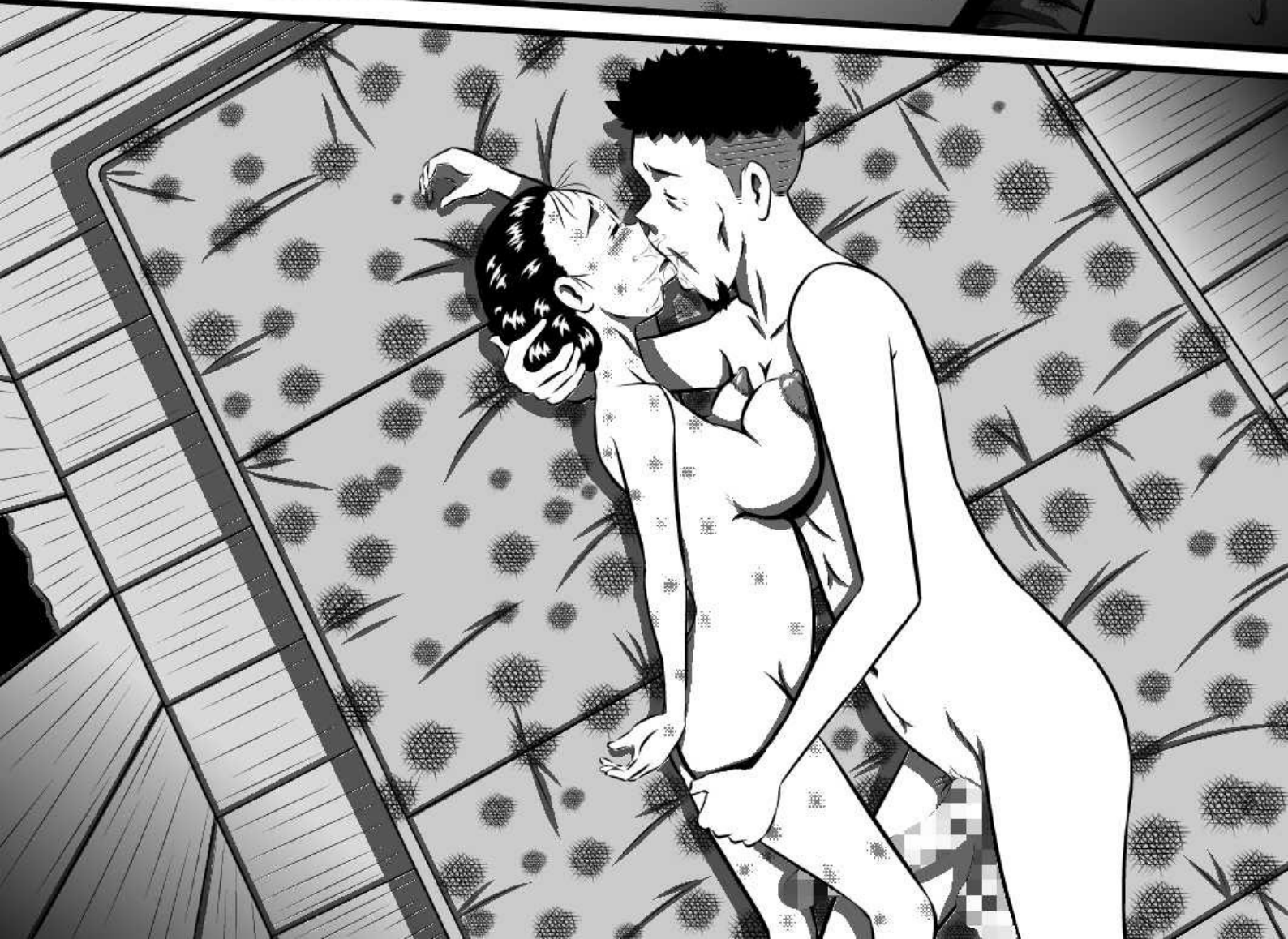




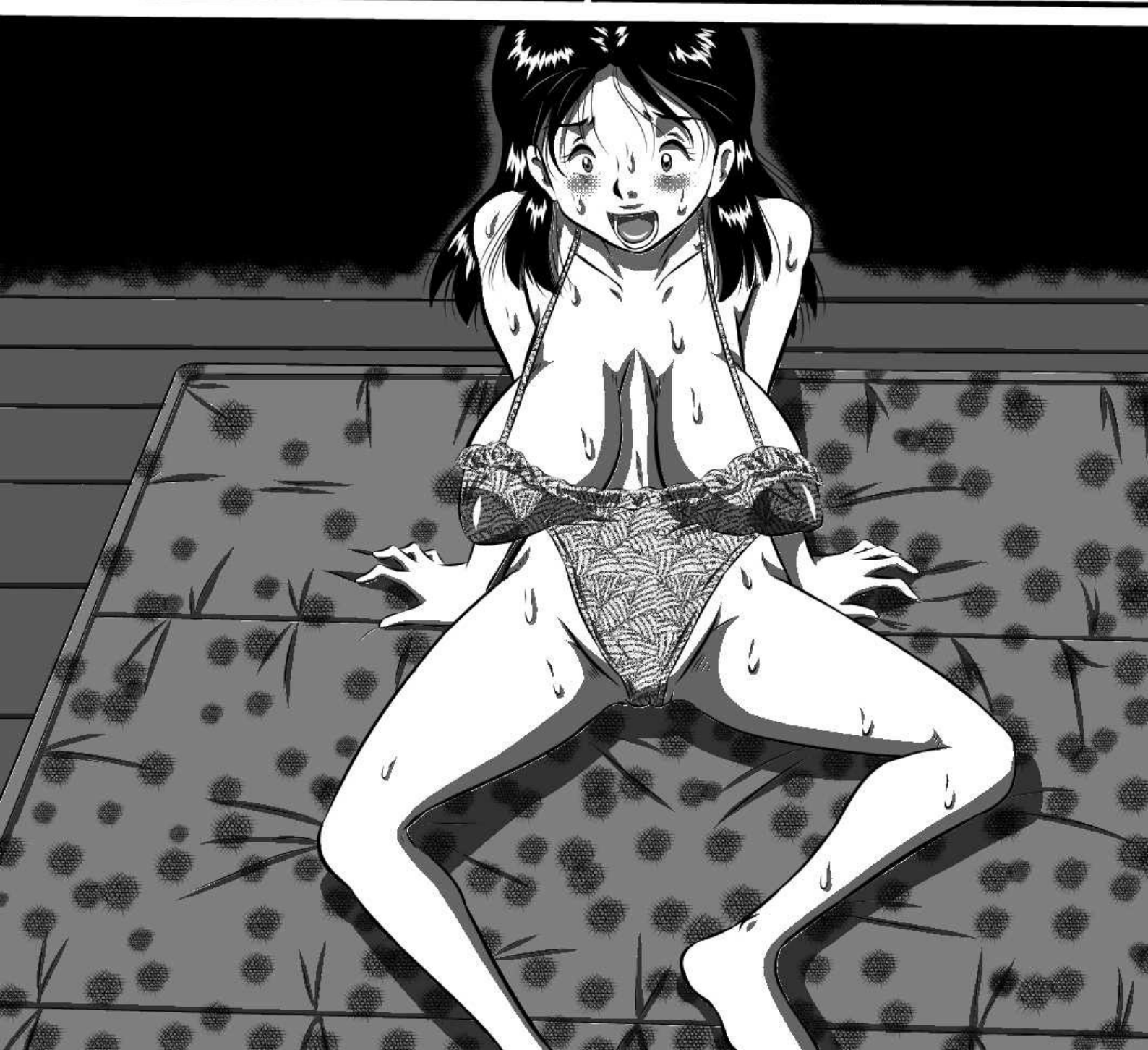




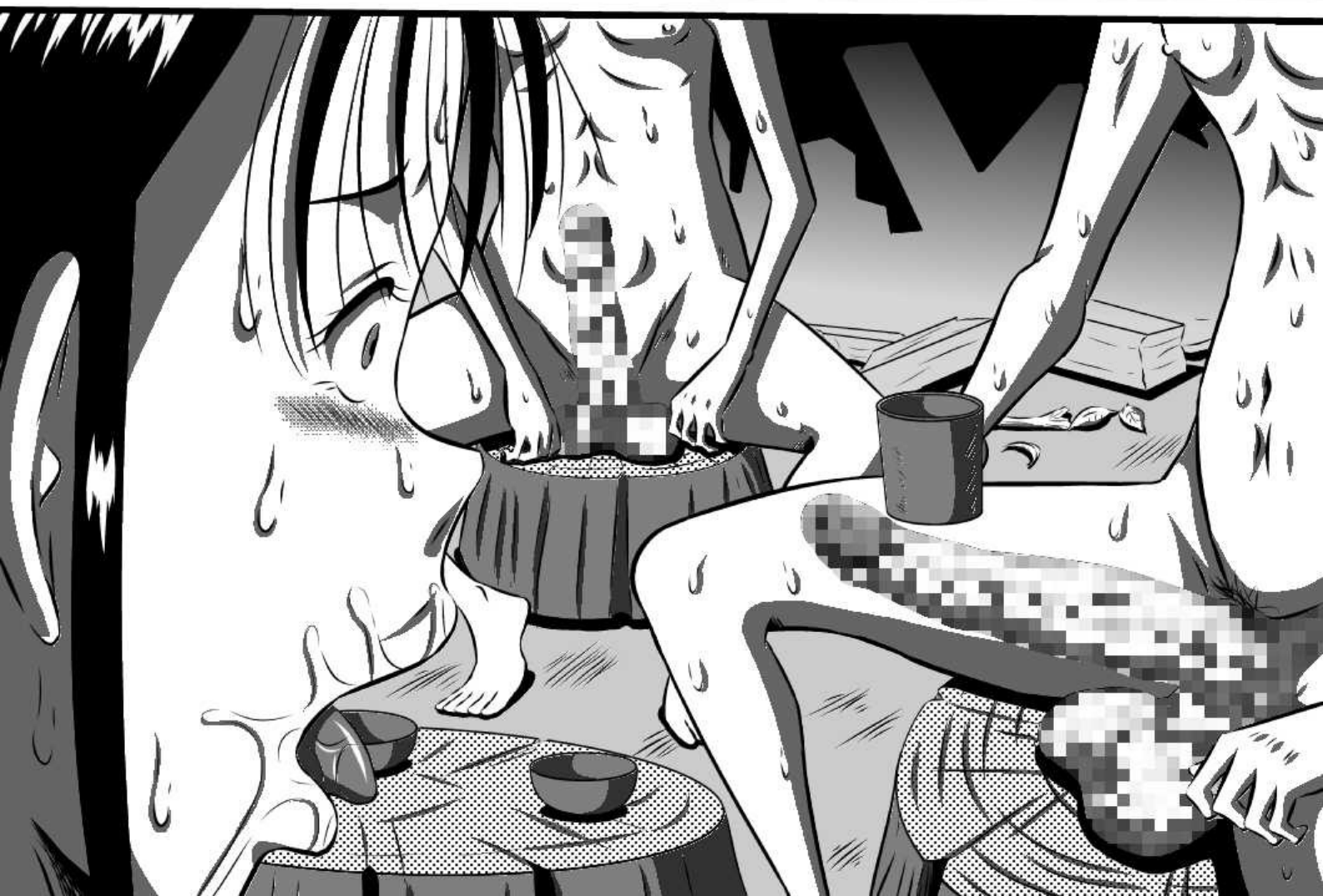


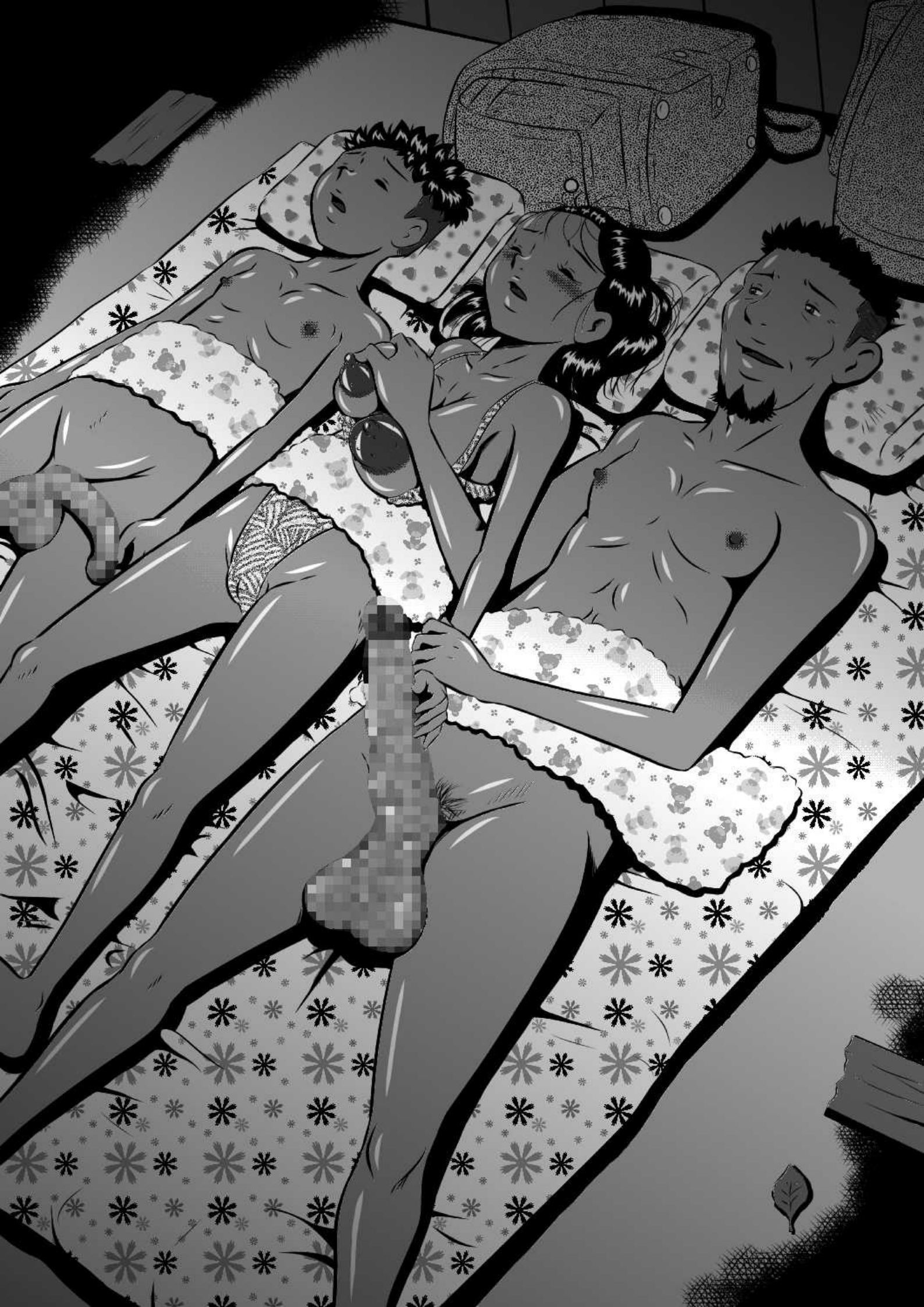














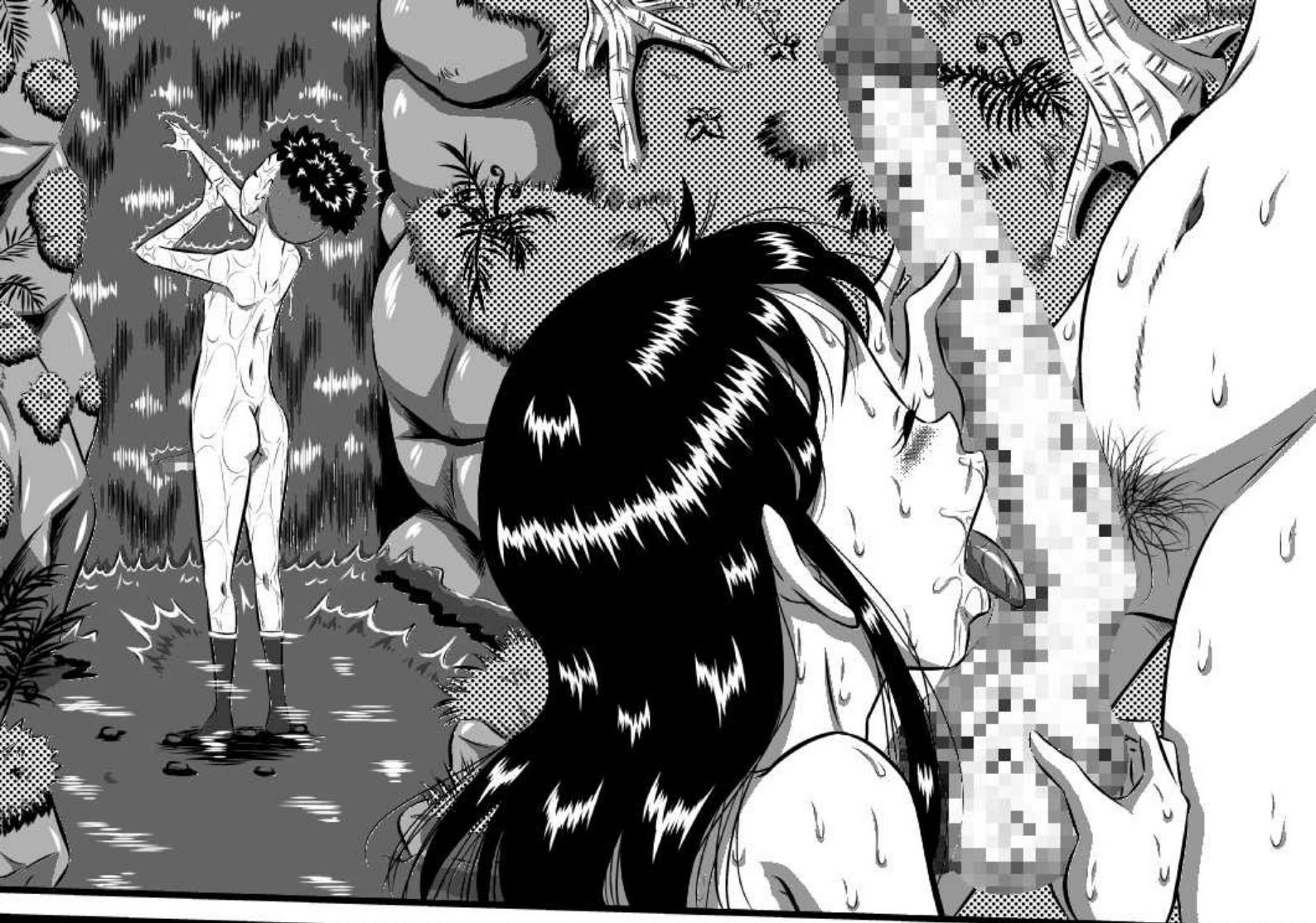




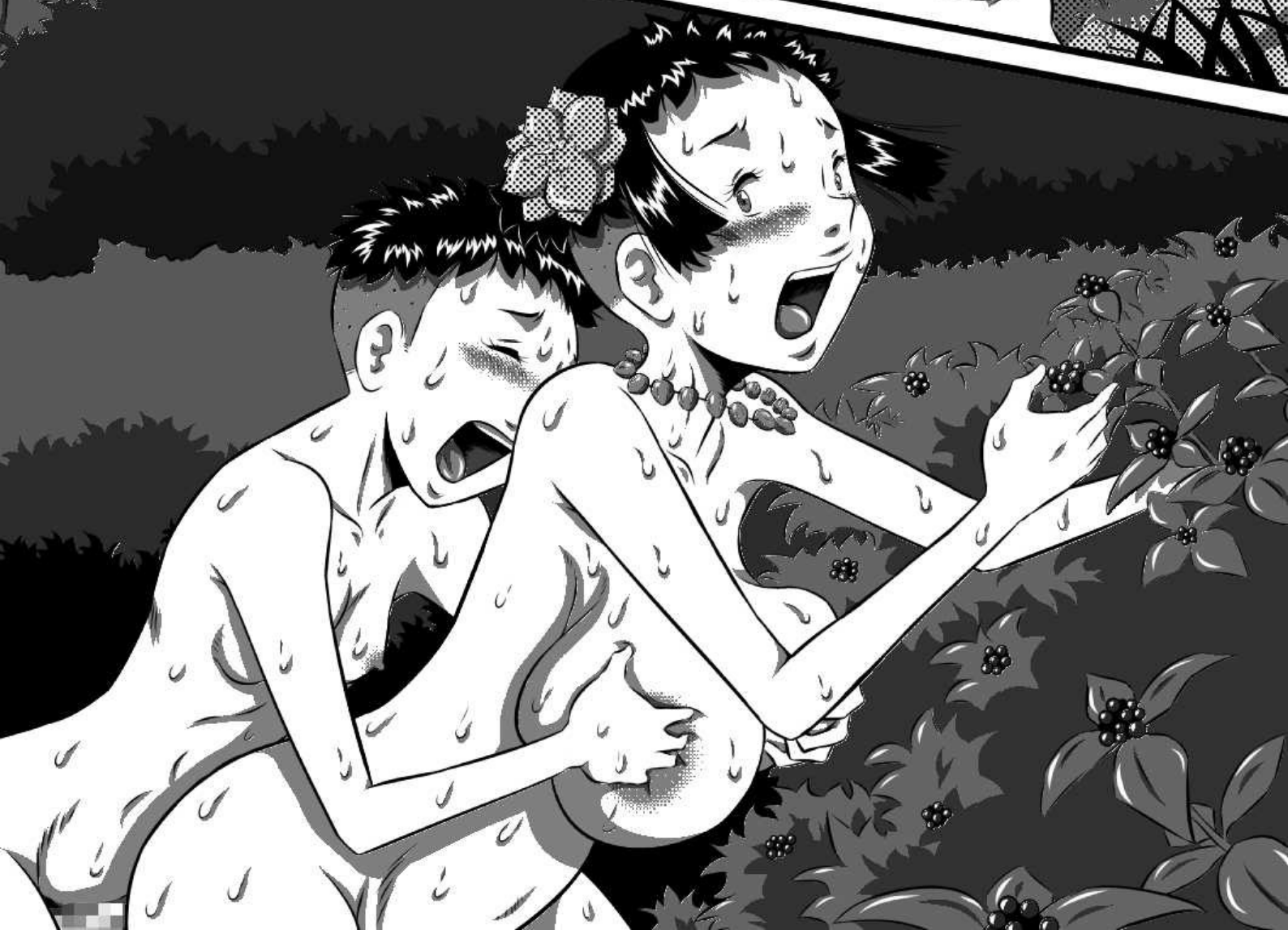










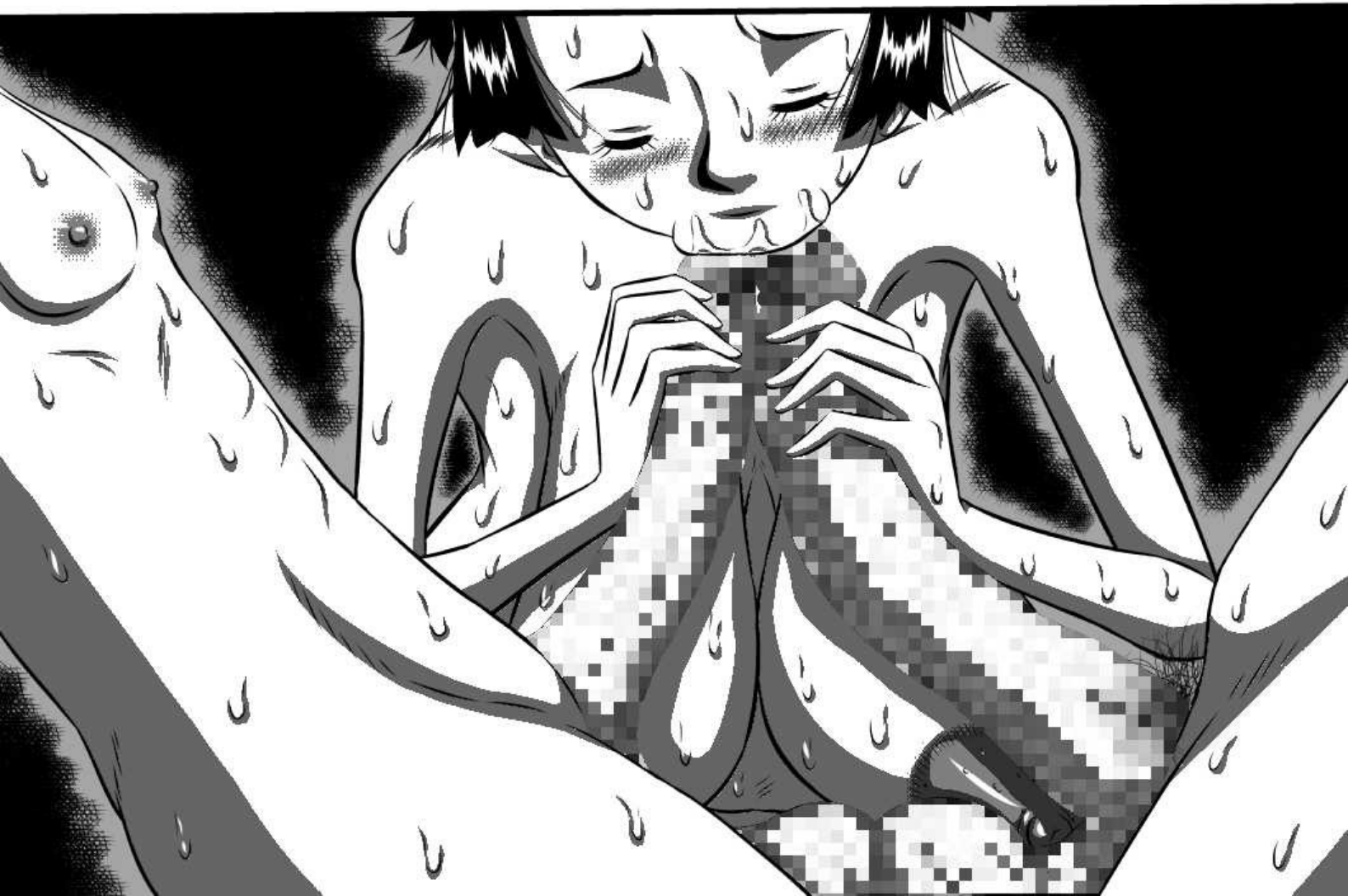
























作品の無断転載、違法コピー、ネットへの  
無断アップロード等は厳禁、お願いします。

連絡先

[marutanishi1182@gmail.com](mailto:marutanishi1182@gmail.com)

<http://pixiv.me/takasi4445>

<http://b.dlsite.net/RG277581>

上記いずれかから、どうぞ。

# 宣伝のページ

千尋はふたりのお嫁さん 白濁天使くるみちゃん

みるく工房 画 ふうのイラスト集

いもうと詩織の肉体を…先生と僕とで…

お姉ちゃん大好き

爆乳妹ちさな、真夜中の乳翳り  
父娘ふたり、肉欲と乳辱の狂宴！

妹、千咲は闇ダンサー 大勢の男達に翳りまわされ、  
ドロドロに堕ちてゆく、幼く淫らな爆乳ボディ

奈々子、お父さんだけじゃガマンできないっ！

母×息子+父×娘！今夜も近親相姦(セックス)シナイト！

垂れ気味爆乳・ポテ腹少女 雪乃さゆり  
放課後集団輪姦倶楽部

母×息子×父×娘！今夜も近親相姦<sup>セックス</sup>シナイト！  
さあ、家族みんなで！

南の孤島の奇跡の巨乳少女“やよい”と“なずな”  
先生とヒミツの身体測定

ぼくの妹 <sup>マリア</sup>麻里亜…  
兄の知らない彼女の裏の顔…「前編」

僕のママはショタ狂い！親友に寝取られる僕のママ…

ぼくの妹 麻里亜…  
兄の知らない彼女の裏の顔…「後編」

爆乳妹さあや ハタチ！  
ヒミツの緊縛入社試験

以上 16作品もどうぞよろしくお願ひします。



先生に苦輪をプレゼントされ  
て巨ぶの やよいちゃん  
縛り縛られて遊ぶ時の必需品

本作はこれにて以上です。  
お付き合い下さいまして  
どうもありがとうございました。

やよいは先生と出会う  
数時間のうちに彼の前で  
裸になって自身の陰部を  
さらけ出していた。

初めて やよいを裸にした時  
彼女の乳房のあまりの大きさに  
驚愕する先生。

次回作も頑張ります。  
これからもよろしくお願ひします。

やよいは彼女自慢の豊満な乳房を  
ギューンと縛りあげられて  
喘ぐのが大好き♡

またね



みるく工房

まだの学○年生の空○の肉○体○  
その特○極太の彼○女○を○  
容赦なく突き立○要○を上○